

野菜病虫害発生予察情報 令和元年度 第18号

調査日 令和2年3月11日(水)
 調査圃場 33圃場(軟弱、ブロッコリー、たまねぎ、にら、いちごなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	少	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	100~ 300L/10a	4000倍	収穫7日前まで	1回以内
	コナガ	少	並	ゼンターリ顆粒水和剤		1000~2000倍	発生初期(但し 収穫前日まで)	-
	ヨトウムシ	少	並					
ほうれんそう	ホウレンソウ ケナガコナダニ	少	増	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日前まで	3回以内
	アブラムシ類	少	並	スタークル顆粒水溶剤		3000倍	収穫3日前まで	2回以内
たまねぎ	白色疫病	少	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	4回以内
	アザミウマ類	少	増	アディオン乳剤		3000倍	収穫7日前まで	5回以内
	アブラムシ類	少	並	マラソン乳剤	2000~3000倍	収穫7日前まで	6回以内	
にら	アザミウマ類	中	増	スピノエース顆粒水和剤	10000倍	収穫前日まで	3回以内	

病虫害に注意しましょう

- ・小松菜や水菜でキスジノミハムシ・コナガの発生が確認されています。こまめに圃場を観察し、初期防除を心がけましょう。また一部圃場でマルトビムシが中程度発生している圃場もあるため注意しましょう。
- ・ほうれんそうでホウレンソウケナガコナダニが発生しています。早期発見に努め、初期防除を心がけましょう。
- ・たまねぎで白色疫病が発生しています。暖冬・多湿条件で感染しやすく、短期間で発病し蔓延します。排水をよくしたり、除草をこまめに行い通気をよくすることで予防しましょう。
- ・たまねぎ、にらでアザミウマ類の発生が確認されています。暖冬のため例年より早く発生しているため、早めの防除を心がけましょう。
- ・今後気温が高くなると予想されており、いちごでハダニ類やアブラムシ類、うどんこ病の発生が懸念されます。早期発見に努め、適期防除を心がけましょう。

たまねぎのべと病に注意しましょう

今後1か月の気象予報によると気温は平年より高く、降水量は平年並~多と予想されています。そのためべと病発生的好適な環境(気温15℃前後で曇雨天日が続く)となるので、発生が懸念されます。

- ①隣接株に比べ草丈が低い
 - ②葉色が黄色
 - ③葉が湾曲している
 - ④株元に白斑がある
- といった特徴のある株は感染の可能性があるので直ちに抜き取り、ビニール袋に密閉し、圃場の外で処分しましょう。



病害株の様子



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

たまねぎのべと病に注意しましょう！

兵庫県病害虫防除所の病害虫発生予察防除情報第5号(2月10日)によると1月30日に洲本市でべと病の感染が確認されており、これはべと病が多発した平成28年並みに早い発生です。

今後1か月の天気予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並～多となり、べと病の発生に好適な環境になる恐れがありますので、圃場の定期的な観察及び予防散布を徹底しましょう。

べと病の発生好適環境

気温15℃前後で多湿状態(曇雨天日など)が1～2日続くと孢子が発芽して増殖し、べと病が多発しやすい

①感染を確認したら直ちに抜き取りましょう

○越年罹病株

前年秋の苗床や圃場に残った孢子が越冬して春期に全身発病した株。
葉身が湾曲・黄化し孢子を形成します。



○二次感染株

全身感染株が感染源となって発病した株。
葉の一部が小判型に黄白色化します。



べと病菌の飛散を防ぐため、抜き取り時に直ちにビニール袋に入れましょう。感染株に対し1%の割合で石灰窒素を混和し、完全に腐らせましょう。

②抜き取り後は薬剤防除を行いましょう

薬剤	希釈倍数 (または使用量)	散布液量	使用時期	使用回数
リドミルゴールドMZ	500～1000倍	100～ 300L/10a	収穫7日前まで	3回以内
プロポーズ顆粒水和剤	1000倍		収穫7日前まで	3回以内

※ジマンダイセン水和剤、リドミルゴールドMZは、同一成分(マンゼブ)を含むため、使用回数を確認して使用してください。

※薬剤は同じ剤を連用せず、ローテーションを心がけましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和元年度 第17号

調査日 令和2年2月12日(水)
 調査圃場 27圃場(軟弱、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、にら、ねぎなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
キャベツ	菌核病	少	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫7日前まで	4回以内
にら	白斑葉枯病	少	並	アフエットフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	1回
	乾腐病	少	並	トップジンM水和剤	3L/m ² 灌注	1000倍	収穫21日前まで	1回
たまねぎ	白色疫病	少	並	ジマンダイセン水和剤	100～ 300L/10a	400～500倍	収穫3日前まで	5回以内
	アザミウマ類	少	増	スミチオン乳剤		700～1000倍	収穫21日前まで	2回以内
いちご	ハダニ類	少	増	ニツソラン水和剤		2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内
	うどんこ病	少	並	ジーファイン水和剤	150～ 500L/10a	750～1000倍	収穫前日まで	-

病害虫に注意しましょう

- ・小松菜や水菜でキスジノミハムシの発生が確認されています。こまめに圃場を観察し、初期防除を心がけましょう。また調査圃場の隣圃場の小松菜でダイコンサルハムシの発生が確認されていますので注意しましょう。
- ・キャベツで菌核病が発生しています。多湿条件下で多く発生するので、排水を良くし予防しましょう。また菌核を形成すると土壌中でも生存し、翌年の感染源となります。病害株は圃場外へ持ち出し、適切に処分しましょう。
- ・たまねぎで白色疫病が発生しています。暖冬・多湿条件下で感染しやすく、短期間で発病し蔓延します。排水をよくしたり、除草をこまめに行い通気をよくすることで予防しましょう。
- ・いちごでハダニ類やうどんこ病が発生しています。今回の調査では少程度でしたが今後気温が高くなると予想されており、発生の増加が予想されますので注意しましょう。
- ・今回の調査では確認されませんでしたでしたが、ほうれんそうの複数の圃場でホウレンソウケナガコナダニが確認されていますので注意しましょう。

たまねぎのべと病に注意しましょう

今回の調査でべと病は確認されませんでしたでしたが、兵庫県病害虫発生予察防除情報第5号(2月10日)によると洲本市で発生が確認されています。これはべと病が多発した平成28年並の早い発生です。今後1か月の気象予報によると気温は平年より高く、降水量は平年並～多と予想されており、べと病発生の好適な環境(気温15℃前後で曇雨天日が続く)となり、べと病の発生が懸念されます。べと病は感染力が非常に強く、胞子は風によって遠くまで飛散するので注意が必要です。写真のような株があれば直ちに抜き取り、適切な処分を行いましょう。



病害株の様子

特徴:
生育が不良となり、
葉身は湾曲し
黄化します



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和元年度 第16号

調査日 令和2年1月15日(水)
 調査圃場 32圃場(軟弱、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、にら、ねぎなど)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	白さび病	少	並	ランマンフロアブル	100～ 300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	3回以内
キャベツ	ヨトウムシ	少	並	プレバソンフロアブル5		2000倍	収穫前日まで	3回以内
	菌核病	少	並	アフェットフロアブル		2000倍	収穫前日まで	3回以内
	黒腐病	少	並	バリダシン液剤5		800倍	収穫7日前まで	5回以内
	いちご	アブラムシ類	中	モスピラン顆粒水溶剤 (劇)		2000～4000倍	収穫前日まで	2回以内
ケール	黒腐病	少	並	Zボルドー		500倍	—	—

病害虫に注意しましょう

・小松菜や水菜で白さび病が発生しています。多湿状態で発生しやすく、蔓延が早い病気です。登録農薬が少ないので発病を認めたら、ただちに抜き取り、処分しましょう。

・キャベツで菌核病、キャベツ及びケールで黒腐れ病が発生しています。多湿条件下で多く発生するので、排水をよくしたり、除草をこまめに行い通気をよくすることで予防しましょう。また菌核を形成すると土壌中でも生存し、翌年の感染源となります。病害株は圃場外へ持ち出し、適切に処分しましょう。

・いちごでアブラムシ類の発生が見られています。葉裏に発生する傾向があるので、薬剤が十分に葉裏にもかかるように防除しましょう。

たまねぎのべと病に注意しましょう

今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高になると予想されています。気温が高く、多湿環境下になるとべと病発生リスクが高まります。べと病は感染力が非常に強く、胞子は風によって遠くまで飛散するので注意が必要です。写真のような株があれば直ちに抜き取り、適切な処分を行いましょう。



病害株の様子

施設の換気を心がけましょう

施設栽培では保温のためハウスを閉めることが多くなりますが、湿度が高くなり病気が発生しやすくなります。天候に合わせ適度な換気を心がけましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和元年度 第15号

調査日 令和元年12月11日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告：41圃場巡回(軟弱・キャベツ・ブロッコリー・たまねぎ・にら・ねぎなど)

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
にら	アザミウマ類	少	並	ディアナSC	100~ 300L/10a	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
	白斑葉枯病	中	並	ファンタジスタ顆粒水和剤		3000倍	収穫前日まで	3回以内
キャベツ	コナガ	少	並	プレバソンフロアブル5		2000倍	収穫前日まで	3回以内
	菌核病	少	並	ベンレート水和剤		2000倍	収穫7日前まで	6回以内
	黒腐病	少	並	バリダシン液剤5		800倍	収穫7日前まで	5回以内
ブロッコリー	黒腐病	少	並	※Zボルドー		500倍	—	—
ケール	黒腐病	少	並	Zボルドー		500倍	—	—

※薬害が懸念されるため、使用は生育期から出蕾期までにとどめましょう。

病害虫に注意しましょう

白斑葉枯病、菌核病、黒腐病が発生しています。

多湿条件下で多く発生するので、排水をよくしたり、除草をこまめに行い通気をよくすることで予防をしましょう。

また菌核を形成すると土壤中でも生存し、翌年の感染源となります。感染が疑わしい葉は取り、圃場外へ持ち出し焼却するなど、適切に処分を行いましょう。

全般的に害虫は減ってきていますが、アザミウマ類、コナガが見られる圃場があります。こまめに観察を行い、初期の防除を心がけましょう。

その他の注意点

小松菜の一部圃場でダイコンサルハムシが見られています。今回の調査では確認されませんでしたでしたがチンゲンサイやはくさいでも発生が確認されています。登録薬剤がないので、防虫ネットにより圃場に入れないようにする、周辺の除草を行うなど圃場管理を徹底しましょう。

今回の調査ではありませんが、キャベツやはくさいでアブラムシ類の発生が確認されている圃場があります。早期発見に努め、初期防除に心がけましょう。

寒い日が続いています！体調を崩さないよう注意してください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和元年度 第14号

調査日 令和元年11月13日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:36圃場巡回(軟弱・キャベツ・ブロッコリー・にんじん・にら・ねぎなど)

品目	病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
にら	白斑葉枯病	中	並	アフェットフロアブル	100~ 300L/10a	2000倍	収穫7日前まで	1回
キャベツ	アブラムシ類	少	増	ランネート45DF		1000~2000倍	収穫14日前まで	3回以内
	ヨトウムシ	少	増	スピノエース顆粒水和剤		2500~5000倍	収穫3日前まで	3回以内
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	少	増	アニキ乳剤		1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内
	黒腐病	少	並	Zボルドー		500倍	—	—
大根	ハスモンヨトウ	少	増	ゼンターリ顆粒水和剤		1000倍	発生初期但し 収穫前日まで	—

病虫害に注意しましょう

全般的に害虫は減ってきていますが、アブラムシ類・鱗翅目(りんしもく)などが引き続き見られています。

兵庫県病虫害発生予報第6号(11月6日)でも野菜共通でアブラムシ類、食用性チョウ目害虫(ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、コナガ等)の発生予想が「やや多」となっています。早期発見に努め、初期防除に心がけましょう。キャベツやレタスなど結球性の野菜類では結球内で増殖しやすいので、結球前の防除を心がけましょう。

換気を行いましょ

施設栽培では保温のためハウスを閉めることが多くなりますが、湿度が高いと病気が発生しやすくなります。天候に合わせ適度な換気を心がけましょう。

露地栽培でも、排水の悪い圃場や密植している圃場では病気が発生しやすいので除草を行い、空気の通りを良くしましょう。

冬の感謝祭開催のお知らせ

日時:12月14日(土)9:00~16:00

場所:神戸西営農総合センター グリーンセンター前

講習会もあります!

『高品質・収量アップに向けて
イネの紋枯れ病対策講習会』

時間 13:00~15:00

場所 神戸西営農総合センター 2階会議室

定員 会場の都合上、先着50名とさせていただきます。

講習会のお申込みは
お近くの支店へ
お願いいたします!



※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和元年度 第13号

調査日 令和元年10月9日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:38圃場巡回(軟弱・ブロッコリー・じゃがいも・スイートコーン・にらなど)

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜・水菜	キスジノミハムシ	少	並	モスピラン顆粒水溶剤	100~ 300L/10a	4000倍	収穫7日前まで	1回
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	中	増	プレバソンフロアブル5		2000倍	収穫前日まで	3回以内
	シロイチモジヨトウ			ゼンターリ顆粒水和剤		1000倍	発生初期但し、 収穫前日まで	-
ブロッコリー	アブラムシ類	中	並	コルト顆粒水和剤		4000倍	収穫前日まで	3回以内
	ハスモンヨトウ	中	増	コテツフロアブル		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
	コナガ	少	並					
ケール	アブラムシ類	中	並	アドマイヤーフロアブル		4000倍	収穫14日前まで	2回以内
じゃがいも	ヨトウムシ	中	増	エルサン乳剤		1000倍	収穫14日前まで	2回以内
大根	ダイコンサルハムシ	甚	並	コテツフロアブル		2000倍	収穫14日前まで	2回以内
にら	アブラムシ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤		4000倍	収穫前日まで	3回以内
	アザミウマ類	甚	増	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
スイートコーン	アワノメイガ	甚	増	プレバソンフロアブル5	2000倍	収穫前日まで	3回以内	

病害虫に注意しましょう

・ブロッコリーやケール、にらでアブラムシ類の発生が多く見られました。葉裏に生息するケースが多いので、薬剤防除の際には葉裏に十分かかるよう心がけましょう。
 ・小松菜や水菜など非結球あぶらな科葉菜類でキスジノミハムシが多くの圃場で見られました。多発すると防除が困難になりますので、早期の防除を行いましょ。

・ほうれんそう、じゃがいも、ケール、スイートコーンで鱗翅目(りんしもく)の発生が多くみられています。兵庫県病害虫防除所の発生予報第5号(9月20日)でも野菜共通でハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの発生予想が「やや多」となっています。こまめに観察を行い、発生初期の防除を心がけましょう。

台風通過後の対策を行いましょ

風雨による傷から菌が入り病害が発生する恐れがあるので折損した葉の除去や適切な薬剤防除を行いましょ。また作物が倒伏している場合には引き起こし、必要に応じて誘因や結束等で固定しましょ。



※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 ※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょ。

野菜病害虫発生予察情報 令和元年度 第12号

調査日 令和元年 9月25日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:35圃場巡回(軟弱・ブロッコリー・キャベツ・スイートコーン・ねぎなど)

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍率 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
キャベツ	アブラムシ類	中	並	アクタラ顆粒水溶剤		2000～ 3000倍	収穫3日前まで	3回以内
ブロッコリー	アブラムシ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤		2000倍	収穫14日前まで	3回以内
	シロイチモジヨトウ	中	増	ゼンターリ顆粒水和剤		1000倍	発生初期但し 収穫前日まで	-
ねぎ	ハモグリバエ類	少	並	プレバソンフロアブル5		2000倍	収穫3日前まで	3回以内
スイートコーン	アワノメイガ	甚	並	プレバソンフロアブル5		2000倍	収穫前日まで	3回以内

アブラムシ類が発生しています

キャベツ、ブロッコリーでアブラムシ類の発生が多く見られました。生育初期の幼苗に多数寄生し吸汁すると新葉の展開が妨げられ、萎縮して著しい場合には枯死します。葉裏をよく観察して適期に防除を行ってください。

キスジノミハムシに注意！

非結球あぶらな科葉菜類でキスジノミハムシが広域にわたって多く見られました。多発すると防除が困難になりますので、早期の防除を行いましょう。

シロイチモジヨトウの発生に注意しましょう

ブロッコリーでシロイチモジヨトウの発生が確認されています。シロイチモジヨトウは柔らかい部分を好んで食害します。育苗中や定植直後の品目では被害が拡大しやすくなるので特に注意が必要です。兵庫県病害虫防除所よりシロイチモジヨトウの発生がやや多くなる予想が発表されていますので、こまめに観察を行い、発生初期の防除を心がけましよう。



※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 ※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和元年度 第11号

調査日 令和元年 9月11日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告：34圃場巡回(軟弱・にら・なす・ねぎ・きゅうり・モロヘイヤなど)

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍率 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100～ 300L/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
キャベツ	アブラムシ類	甚	増	トレボン乳剤		1000～2000倍	収穫3日前まで	3回以内
	コナガ	多	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		1000～2000倍	収穫7日前まで	5回以内
	ヨトウムシ	甚	増	アディオン乳剤		2000倍	収穫3日前まで	5回以内
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	中	増	カスケード乳剤		4000倍	収穫7日前まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	並	スピノエース顆粒水和剤		2500～5000倍	収穫3日前まで	3回以内
にら	アザミウマ類	少	並	ディアナSC		2500～5000倍	収穫前日まで	2回以内
きゅうり	アブラムシ類	多	増	アグロスリン乳剤(劇)		2000倍	収穫前日まで	5回以内
	ハモグリバエ類	中	並	プレバソンフロアブル5		1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
	べと病	多	並	ジマンダイセン水和剤		600～800倍	収穫前日まで	3回以内
スイートコーン	アワノメイガ	甚	増	パダン粒剤4(劇)	6kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	

病害虫に注意しましょう

- ・非結球あぶらな科葉菜類でキスジノミハムシの発生程度は少でしたが、多くの圃場で見られました。適切な薬剤防除と圃場内外の除草を心がけましょう。
- ・キャベツやきゅうりでアブラムシ類の発生が多く見られています。葉裏に生息するが多いため、薬剤防除の際は葉裏にも十分かかるよう心がけましょう。また発生源である周辺雑草や圃場内の除草作業を忘れずに行いましょう。
- ・キャベツでコナガの発生が中程度確認されています。密度が高くなると防除が困難であるため、こまめに観察し、発生初期の防除に心がけましょう。また防虫ネットの使用も効果的です。

りんしもく 鱗翅目害虫に 注意しましょう

今回の調査では発生が確認されませんが、県病害虫防除所の発生予報第4号(8月14日)では、野菜共通でハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの発生予想が「やや多」となっています。特にハイマダラノメイガは定植前後の生育初期に生長点を食害することが多いため、被害が大きくなりやすく、キャベツやブロッコリー等の秋冬作のアブラナ科野菜は注意が必要です。播種前や定植時には粒剤を使うなどして予防に心がけましょう。

ラウンドアップ(除草剤)のキャンペーンは9月26日(木)までです！
 詳しくは支店相談員までお問い合わせください。



※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
 ※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和元年度 第10号

調査日 令和元年 8月28日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:22 圃場巡回(軟弱・にら・なす・ねぎ・きゅうり・モロヘイヤなど)

品目	病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍率 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミハムシ	中	増	アニキ乳剤	100~ 300L/10a	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
				モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫7日前まで	1回
なす	ハダニ類	少	並	グレースシア乳剤		2000倍	収穫前日まで	2回以内
	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒水和剤		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	並	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
にら	アザミウマ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日まで	3回以内
きゅうり	べと病	甚	増	アミスター20フロアブル		1500~2000倍	収穫前日まで	4回以内
				リドミルゴールドMZ		1000倍	収穫前日まで	3回以内

※マンゼブを含む農薬(ジマンダイセン水和剤・リドミルゴールド MZ 等)の総使用回数は3回以内

病虫害に注意しましょう

・非結球あぶらな科葉菜類でキスジノミハムシの発生程度は中でしたが、多くの圃場で見られました。適切な薬剤防除と圃場内外の除草を心がけましょう。

・なす、ねぎ、にらでアザミウマ類の発生が見られています。発生密度が高くなってからでは防除が難しいので、早期発見に努め、発生初期の防除に心がけましょう。

・きゅうりでべと病の発生が多く見られています。湿度が高くなると発生しやすいので、排水をよくし施設栽培の場合は換気も心がけましょう。また薬剤耐性菌を生じやすいのでローテーション防除を行いましょう。

ツマジロクサヨトウに注意しましょう

ツマジロクサヨトウの発生が7月3日に鹿児島県で初めて確認された後、九州及び岡山県でも確認されています。ツマジロクサヨトウは幼虫が植物の葉、茎、花並びに果実を加害し、成長すると加害しながら分散します。トウモロコシ、イネ、豆類、いも類、野菜類等広範囲な作物に被害を与えることが知られています(農林水産省HPより)。詳しくは農林水産省のHPをご参照ください。



今後も引き続き、帽子の着用、通気性の良い服装、こまめな水分・塩分補給を心がけて作業を行ってください!

※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください
 ※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 令和元年度 第9号

調査日 令和元年 8月14日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告：16圃場巡回(軟弱・ねぎ・にら・なす・モロヘイヤなど)

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍率 (または使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミハムシ	多	増	アクセルフロアブル	100～ 300L/10a	1000倍	収穫前日まで	3回以内
				スタークル顆粒水溶剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
なす	アザミウマ類	少	並	ディアナSC	100～ 300L/10a	2500～5000倍	収穫前日まで	2回以内
				グレーシア乳剤		2000倍	収穫前日まで	2回以内
	ハダニ類	少	並	ニッソラン水和剤	150～ 500L/10a	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内
				サンクリスタル乳剤		300～600倍	収穫前日まで	-
にら	アザミウマ類	少	並	ディアナSC	100～ 300L/10a	2500～5000倍	収穫前日まで	2回以内
				スピノエース顆粒水和剤		10000倍	収穫前日まで	3回以内
モロヘイヤ	ハダニ類	多	増	コロマイト乳剤	300L/10a	1500倍	収穫前日まで	1回

病害虫に注意しましょう

- ・非結球あぶらな科葉菜類でキスジノミハムシが多くの圃場で見られました。適切な薬剤防除と圃場内外の除草に心がけましょう。
- ・アザミウマ類の発生がなす・にらで見られました。発生密度が高くなってからでは防除が難しいので、よく圃場を観察し発生初期の防除に心がけましょう。

次作のトマト黄化葉巻病を防止しましょう

トマト黄化葉巻病を防止するため一人一人が気をつけ地域全体で対策を行きましょう。タバココナジラミの繁殖源や病気の伝染源を減らすため、収穫終了後の株を放置せず早めに処分してください。また次作ではコナジラミの発生を初期で抑えるようにしましょう。大量発生したり、成虫の密度が高くなると薬剤が効きにくくなるため、発生消長を見ながら適期防除に努めましょう。

コナジラミ類に登録のある新系統の殺虫剤
グレーシア乳剤

台風通過後の対策を行きましょう

圃場に雨水が停滞している場合は早急に排水に努めましょう。風雨による傷から菌が入り病害が発生する恐れがあるので折損した葉の除去や適切な薬剤防除を行きましょう。また作物が倒伏している場合には引き起こし、必要に応じて誘因や結束等で固定しましょう。

予防効果のある殺菌剤

- ・Zポルドー
 - ・ダコニール1000 など
- ※品目によって希釈倍率が異なります。

非常に暑い日が続いております。帽子の着用、通気性の良い服装、こまめな水分・塩分補給を行ってください



※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください

※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和元年度 第8号

調査日 令和元年 7月24日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:27圃場巡回(軟弱・にら・なす・トマト・スイートコーン・モロヘイヤなど)

品目	病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍率 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミハムシ	少	増	スタークル顆粒水溶剤	100~	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
				モスピラン水溶剤(劇)		4000倍	収穫7日前まで	1回
なす	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒水和剤	300L/10a	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
	ハダニ類	少	並	スターマイトフロアブル		2000倍	収穫前日まで	1回
				サフオイル乳剤	100~ 500L/10a	300~500倍	収穫前日まで	-
	テントウムシダマシ類	中	並	スミチオン乳剤	100~ 300L/10a	1000~2000倍	収穫前日まで	5回以内
きゅうり	うどんこ病	中	増	トリフミン水和剤		3000~5000倍	収穫前日まで	5回以内
トマト	うどんこ病	多	増	アフェットフロアブル	150~ 500L/10a	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
	コナジラミ類	中	並	サンクリスタル乳剤		300倍	収穫前日まで	-
				カスケード乳剤	100~ 300L/10a	4000倍	収穫前日まで	4回以内
ミニトマト	コナジラミ類	中	並	ディアナ SC		2500倍	収穫前日まで	2回以内
				カスケード乳剤	4000倍	収穫前日まで	2回以内	
	葉かび病	中	増	ベンレート水和剤	2000~3000倍	収穫前日まで	3回以内	

病虫害に注意しましょう

・非結球あぶらな科葉菜類でキスジノミハムシの発生程度は少でしたが、多くの圃場で見られました。適期・適切な薬剤防除・圃場内外の除草を心がけましょう。

・梅雨明け後、高温・乾燥が続くとダニ類の多発が予想されます。早期発見、早期防除を心がけましょう。

・次年度のトマト黄化葉巻病を防止するため一人一人が気をつけ地域全体で対策を行いましょ。発病株はタバココナジラミが吸汁することによりウイルスの二次伝染源となります。感染が疑わしい株は抜き取り、土に埋めるか袋に詰めるなどの処分をしましょう。

・薬剤抵抗性を持たせないように複数の薬剤をローテーションで使用するようにしましょう。

その他のお知らせ

秋冬作肥料キャンペーン

- ・兵庫六甲園芸化成 20kg
- ・大収穫！こうべハーベスト 20kg
- ・高度化成オール14 20kg

取りまとめは8月31日(土)までです。詳しくはお近くの支店へお問い合わせください。

熱中症に注意しましょう！！

非常に暑い日が続いております。帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分・塩分補給を行ってください。



※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください
 ※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病虫害発生予察情報 令和元年度 第7号

調査日 令和元年 7月10日(水)
 調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
 発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告：31圃場巡回(軟弱・にら・なす・トマト・スイートコーン・モロヘイヤなど)

品目	病虫害	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍率 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミハムシ	少	増	アニキ乳剤	100~300L/10a	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ほうれんそう	ハウレンソウケナガコナダニ	少	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
にら	アザミウマ類	中	増	スピノエース顆粒水和剤		10000倍	収穫前日まで	3回以内
なす	アザミウマ類	中	並		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	
	ハダニ類	多	増	ダニロンフロアブル	150~300L/10a	2000倍	収穫前日まで	1回
きゅうり	うどんこ病	少	並	アフエットフロアブル	100~300L/10a	2000倍	収穫前日まで	3回以内
ミニトマト		多	増			2000~4000倍		
トマト	ハモグリバエ類	少	並			プレバソンフロアブル5		
	コナジラミ類	甚	増	トレボン乳剤	1000倍	収穫前日まで	2回以内	
	葉かび病	少	並	トリフミン水和剤	3000~5000倍	収穫前日まで	5回以内	
モロヘイヤ	カメムシ類	中	増	スミチオン乳剤	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	
とうもろこし(スイートコーン)	アワノメイガ	少	並	アグロスリン乳剤(劇)	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内	

※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

病虫害に注意しましょう

- ・非結球あぶらな科葉菜類でキスジノミハムシの発生程度は少でしたが、多くの圃場で見られました。適期・適切な薬剤防除・圃場内外の除草を心がけましょう。
- ・うどんこ病も多く発生しています。薬剤耐性菌を生じやすいので、連用をさけローテーション防除を心がけましょう。
- ・一部の圃場でトマトでコナジラミ類が多発しています。栽培終了後には株を切断・抜根すると同時にハウスを密閉して蒸し込み処理(ハウス内温度40℃以上で10日間以上)を行い次作への持越しを防ぎましょう。

その他のお知らせ

- ・熱中症に注意しましょう。帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分補給を行ってください。
- ・7月19日(金)、20日(土)神戸西営農総合センターにて夏の感謝祭を開催いたします!ぜひご来場ください!!

詳しくは営農総合センターや支店にお問い合わせください



野菜病害虫発生予察情報 令和元年度 第6号

調査日 令和元年 6月26日(水)

調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:26圃場巡回(軟弱・ねぎ・にら・なす・トマト・スイートコーン・モロヘイヤなど)

5月から乾燥傾向が続いていましたが、向こう1か月の天候は、平年に比べ曇りや雨の日が多くなる見込みです。



品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	希釈倍率 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジ/ハマシ ハモグリハエ類	多	並	アニキ乳剤	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	中	並	アグリメック(劇)	500~1000倍	収穫3日前まで	3回以内
トマト		少				収穫前日まで	
なす						2回以内	
きゅうり		うどんこ病				中	並
トマト	葉かび病	少	増	スピノエース顆粒水溶剤	5000倍	収穫3日前まで	3回以内
モロヘイヤ	アザミウマ類	多	並	パダン粒剤4(劇)	6kg/10a (株の上から均一に散布する)	収穫7日前まで	2回以内
とうもろこし (スイートコーン)	アワノメイガ	少	並				

※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

病害虫に注意しましょう!

- 引き続きアザミウマ類が多く発生しています。適期・適切な薬剤防除・圃場内外の除草を心がけましょう。
- 暑い日が続いております。薬剤散布を行う際は薬害に注意しましょう。特にハウス内で防除を行う際は、夕方でも気温が高い場合に薬害を生じる場合がありますので、ご注意ください。
- 今後雨天が続く予定ですので排水溝の再確認をしましょう。圃場から出ていく起点である排水口が詰まらないように、回りの草やゴミを取り除きましょう。

その他のお知らせ

- 秋冬作の計画は立てられていますか?
JAでは様々な品目の提案を行いますので是非ご相談ください。
- 熱中症に注意しましょう。帽子の着用、通気性の良い衣類の着用、こまめな水分補給を行ってください。
詳しくは営農総合センターや支店へお問い合わせください。
7月19日(金)~20日(土)
夏の感謝祭開催!(神戸西営農総合センター)

野菜病害虫発生予察情報 2019年度 第5号

調査日 令和元年6月12日(水)

調査機関 普及センター、神戸市、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:32圃場巡回(軟弱、トマト、ねぎ、にら、なす、きゅうり等)

発生を確認した病害虫について

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科葉菜類	キスジノミハムシ	多	増	スタークル顆粒水溶剤	100~300 ℓ/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
	コナガ	多	増	プレバソンフロアブル5		2000倍	収穫前日まで	2回以内
トマト	ハモグリバエ類	少	並	スピノエース顆粒水和剤		5000倍	収穫前日まで	2回以内
	コナジラミ類	少	増	コルト顆粒水和剤		4000倍	収穫前日まで	3回以内
ミニトマト	灰色かび病	少	並	アフェットフロアブル		2000倍	収穫前日まで	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	甚	増	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
にら	アザミウマ類	甚	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日まで	3回以内
きゅうり	アザミウマ類	少	並	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内

※ジノテフランを含む農薬(スタークル粒剤、スタークル顆粒水溶剤等)の総使用回数は3回以内(播種及び定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は合計2回以内)

害虫の発生が続いています!

全体的にキスジノミハムシ、コナガ、アザミウマ類の発生が続いています。適宜に適切な防除や圃場内外の除草を心がけましょう。

熱中症に注意しましょう。農作業をする際はこまめに水分補給を行い、適度に休憩をとりましょう。

トマトの黄化葉巻病に注意しましょう!

トマト黄化葉巻病はタバココナジラミが媒介するウイルス病で、兵庫県では県南部を中心に被害が見られます。タバココナジラミは特に春から夏にかけて発生が多くなると予想されます。圃場を注意深く観察し、初期の防除を心がけましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 2019年度 第4号

調査日 令和元年 5月 22日(水)

調査機関 普及センター、神戸市、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告：37圃場巡回(軟弱、トマト、なす、たまねぎ、スイートコーン等)発生を確認した病害虫について

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	キスジノミハムシ	中	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	100~300ℓ /10a	4000倍	収穫7日前まで	1回
	コナガ	少	並	フレバソンフロアブル5		2000倍	収穫前日まで	2回以内
トマト	ハモグリバエ類	中	増	アフアーム乳剤		2000倍	収穫前日まで	5回以内
	コナジラミ類	多	増			1000倍	収穫前日まで	5回以内
きゅうり	アザミウマ類	甚	増	スミチオン乳剤		5000倍	収穫3日前まで	3回以内
モロヘイヤ	アザミウマ類	多	増	スピノエース顆粒水和剤		2000倍	収穫前日まで	2回以内
なす	アザミウマ類	中	並	スタークル顆粒水溶剤		3000倍	収穫14日前まで	4回以内
とうもろこし	アブラムシ類	多	増	アディオン乳剤				

害虫に注意しましょう

引き続き、アザミウマ類の発生が多くみられています。適期に適切な薬剤防除や圃場内外の除草を心がけましょう。

またモンシロチョウが見られています。これから卵を産み、幼虫が発生すると思われます。圃場を注意深く観察しましょう。

秋冬作の計画は立てられていますか？
JAでは様々な品目の提案を行っています。詳しくは最寄りの支店営農相談員までご相談下さい。

熱中症に注意しましょう！
農作業を行う時は水分をよくとり、適度に休憩をしましょう。



JAからのお知らせ

雑草対策にバスタ液剤・ザクサ液剤がおすすめです！5月31日までキャンペーン中です。詳しくは最寄りの支店営農相談員へご相談ください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報 2019年度 第3号

調査日 令和元年 5月 8日(水)

調査機関 普及センター、神戸市、JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA 兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告：37圃場巡回(軟弱、トマト、レタス、にら、たまねぎ、スイートコーン等)

発生を確認した病害虫について

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
こまつな	キスジノミハムシ	少	並	スタークル顆粒水溶剤	100~300ℓ /10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
レタス	アブラムシ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
にら	アザミウマ類	甚	増	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日まで	3回以内
たまねぎ	アザミウマ類	甚	増	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
	べと病	中	増	リドミルゴールドMZ※		1000倍	収穫7日前まで	3回以内
スイートコーン	アブラムシ類	多	増	アディオン乳剤		3000倍	収穫14日前まで	4回以内

※マンセブを含む農薬(ジマンダイセン水和剤、リドミルゴールド MZ 等)の総使用回数は5回以内。

アブラムシ・アザミウマ類の発生が多くなっています

全体的にアブラムシ、アザミウマ類の発生が多く確認されました。気温上昇に伴い、発生が増加すると予想されるので十分に注意し、早期の防除を行いましょ。

たまねぎのべと病の防除をしましょう

べと病菌は圃場に長く生き残り、土中の卵胞子が秋に苗へ感染し、定植後に越年罹病株となります。春に越年罹病株から分生胞子が発生し、感染を繰り返すため今の時期の薬剤防除が大切です。風のない時期に薬剤が全体に付着するように丁寧な散布を行いましょ。



JAからのお知らせ

雑草対策にバスタ液剤・ザクサ液剤がおすすめです！5月31日までキャンペーン中です。詳しくは最寄りの支店営農相談員へご相談ください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょ。

野菜病害虫発生予察情報 2019年度 第2号

調査日 平成31年4月24日(水)

調査機関 普及センター、神戸市、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:35圃場巡回(軟弱、トマト、にら、いちご、レタス、たまねぎ等)

発生を確認した病害虫について

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
トマト	ハモグリバエ類	少	並	プレバソフロアブル5	100~300ℓ /10a	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内
いちご	ハダニ類	多	増	ニッソラン水和剤		2000~3000倍	収穫前日まで	2回以内
レタス	アブラムシ類	中	増	スタークル顆粒水溶剤		2000~3000倍	収穫3日前まで	2回以内
たまねぎ	アザミウマ類	多	増	ディアナSC		2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内
	白色疫病	中	増	ランマンフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	4回以内
こまつな	アブラムシ	少	増	スタークル顆粒水溶剤		3000倍	収穫3日前まで	2回以内

※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

☆アブラムシに注意しましょう☆

レタスやこまつなでアブラムシの発生が確認されました。新芽や葉の裏側など様々な部位に数十から数百匹の集団をつくって寄生します。植物の汁を吸って生育を阻害し、すす病を発生させたり、モザイク病を媒介する害虫です。薬剤防除だけでなく、風通しを良くし、周辺の雑草除去を徹底しましょう。

平年と同様に晴れの日が多く、気温がかなり高くなると予報されています。

しっかりと水分補給を行い、体調を崩さないよう気を付けて作業を行ってください！



JAからのお知らせ

雑草対策にバスタ液剤・ザクサ液剤がおすすめです！5月31日までキャンペーン中です。詳しくは最寄りの支店営農相談員へご相談ください。

野菜病害虫発生予察情報 2019年度 第1号

調査日 平成31年4月10日(水)

調査機関 普及センター、神戸市、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店

発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

調査報告:30圃場巡回(軟弱、ほうれんそう、にら、トマト、たまねぎ等)

発生を確認した病害虫について

品目	病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	キスジノミハムシ	中	増	スタークル顆粒水溶剤	100~300g /10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	多	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫3日前まで	2回以内
にら	アザミウマ類	中	並	モスピラン顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日まで	3回以内
トマト	ハモグリバエ類	中	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫前日まで	5回以内
たまねぎ	べと病	少	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫7日前まで	4回以内

※部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

※農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

☆害虫の発生が増えています☆

・こまつな、みずなでキスジノミハムシの食害が確認されました。葉に点々と穴をあけるように食害する特徴があります。気温上昇に伴い、生育期間が短くなるため早めの防除を心がけましょう。

・ハウレンソウケナガコナダニの発生が確認されました。新芽に寄生し、食害を受けると葉に小さな突起や穴が生じ、光沢を帯びた奇形となります。ひどい場合は芯止まりになります。こまめに観察し、早めの防除を心掛けて下さい。

雑草対策におすすめです！

バスタ液剤・ザクサ液剤

- ・すばやく枯らす
- ・畦畔など土が崩れにくい

といった特長があります！

圃場周辺の雑草を減らすことで、圃場内の病害虫のすみかが減り、効率の良い薬剤防除につながります。

5月31日までキャンペーン中です！

